

千年の森便り No.115 2013.4.30

ちば千年の森をつくる会 事務局長 伊藤道男 sennennomori@hotmail.co.jp

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

活動の記録

3月27日(水) & 4月4日(木)、4月16日(火) 植物観察・撮影の臨時活動

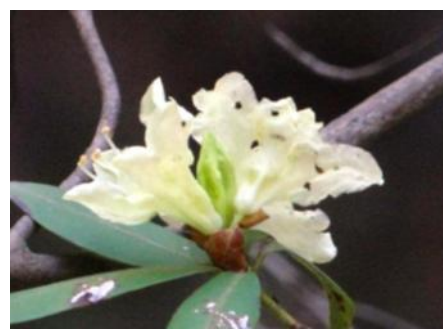
坂本文雄さんは3月27日(水)と4月16日(火)、新井通子、真鍋、栗山さんは4月4日(木)、植物観察・撮影を行いました。フデリンドウ、フモトスミレ、ヒナスミレなど開花し、ミツバツツジ、モミジイチゴ、ミヤマシキミ、クロモジ、アセビなど花盛り、ヤママメザクラ、ウスゲヤマザクラも咲いていました。(両種とも23年4月19日中央博天野氏標本により同定) ツクシショウジョウバカマ(「豊英島の自然」植物目録には「シロバナショウジョウバカマ」と記載)は崖に4株ありますが、今年も開花無し。崖下急斜面のヒメフタバランは株数少なく30株程度、開花も7株程度と少ない。崖にクリーム色のヒカゲツツジが2輪開花。崖の土は殆ど崩落し根が岩に縋りついている状態で、放置すれば早晚死滅が懸念され、何らかの保全策が望まれます。(真鍋)



ヒナスミレ(B)(20130327 坂本文)



ヒメフタバラン(A)(20130404 栗山)



ヒカゲツツジ(A)(20130404 栗山)

(A)千葉県最重要保護生物 (B)千葉県重要保護生物

4月27日(土)晴 4月21日に計画していた今年度最初の定例活動日を降雨のため27日に延期して実施。

急な日程変更にもかかわらず、伊藤、岩崎夫妻、苺米、栗山、小又、坂本(文)、重岡、真鍋、み、村野、山口の12名が参加。春の暖かい日射しを浴び、年次総会、3月に植菌したシイタケ・ヒラタケの本伏せ、稀少種の保護、植物観察、野鳥観察、林内散策など楽しみ、「千年の森」設立11年目の活動をスタートしました。林床にはエビネが花盛りでした。

○年次総会

平成25年度総会を開催し、事務局長提案議案書の通り、24年度活動実績・決算報告を承認、25年度活動・予算計画を決定し、役員改選を行いました。活動計画に関連し、次のことが議論されました。

- (1) 植生保護柵の拡張については、区域を早期に選定し、実行する。
- (2) 崖に自生しているヒカゲツツジは根が裸出して、危機的な状況にあるので、保全のため接ぎ木・実生による再生を検討し実行する。
- (3) 稀少種の自生地は崖や急斜面が多いので、安全に接近・観察できるように、足場など整備する。(真鍋)



シイタケホダ場に全員集合



暖かい春の陽ざしを浴びて年次総会

この活動は、2013年度一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています

○シイタケ・ヒラタケの本伏せ

3月に駒打ちし仮伏せしてあったシイタケとヒラタケのホダ木を本伏せした。シイタケは交互に組み合わせて適当な空間を確保する「よろい伏せ」に、湿気がより必要なヒラタケは地面に並べる「地伏せ」とした。ホダ木はかなり重かったが、苅米さん指導のもと分担して運搬、伏せ込みと手際よく行い比較的短時間で済んだ。いつものことだが、作業系の仕事は人数の力を実感する。伏せ込んだ場所は千年広場のごく近くで、収穫期の発生確認が容易なのがつらい。皆さんお楽しみに。(伊藤)



シイタケはよろい(鎧)伏せに

○植物観察

林床にはエビネが花盛り、花茎25本の豪華株もありました。チゴユリ、フデリンドウ、シュンランなども咲いていました。ガマズミ、コバノガマズミ、カマツカ、スイカズラ、ツクバネウツギなど開花し、ミヤマウグイスカグラ、ウリカエデは花期を終え実を着けていました。ツチアケビは植生保護柵内に6本元気に芽を出していますが、千年広場脇、島入口、マダケ林などの金網内は1~2本しかなく、株の衰退が目立ちます。崖のヒカゲツツジ接近に挑戦した一行は、咲き終えた株に近付くことができず引き揚げ、接近は不可能、種子も枝も採取出来ないと納得しました。(真鍋)



エビネ 2013.04.27 栗山



ヤブデマリ 2013.04.27 坂本文



ツチアケビ 2013.04.27 み



フデリンドウ 20130416 坂本文

○稀少種保護

千年広場脇、吊橋の橋台脇、マダケ林のツチアケビはいずれも株が衰退傾向で、今年も発芽が少ないが、食害防止のための金網囲いを補修または更新しました。また数年間金網で天井が覆われたため、落葉が遮られ腐葉土が少ない金網内には、自然の状態に近づくよう落葉を入れました。巨木林に昨年見つけたサイハイランも金網で囲いました。(真鍋)



ツチアケビ保護金網の更新

○野鳥の記録(メモの順)

ウグイス囀り ハシブトガラス声 トビ2+声 ヤマガラ2+囀り コゲラ2+声 メジロ囀り+声 ヒヨドリ1+声 カワウ 10 オオルリ囀り センダイムシクイ囀り カケス声 ハシボソガラス声 シジュウカラ囀り+声 エナガ声 カルガモ声

その他の情報①伊藤さん 栗山さんより キツツキ類が木をつつく音を聞いた。コゲラより大きな音なのでアカゲラと思われる。②真鍋さんより 頭上を通過したタカ類、茶色で尾羽に黒の横縞があったのでサシバと思われる。以上 17 種(坂本文雄)

○シカを目撃

午前中、野鳥観察のため禁断岬方面に向けて歩いていたら、2頭連れのシカを2回目撃しました。午後、祠山の下でセンサーカメラの電池交換中にもう一度現れました。他にも見た人がいますが、いずれも2頭連れで親子のような体格差がありましたので同じ個体と思われます。釣り人が多かったので島の外へ脱出する事もできず、島内を逃げ回っていたのでしょう。(坂本文雄)

お知らせ

〇5月の定例活動日

5月の定例活動日は5月19日(日)です。県民の森9時30分集合
午前中は、県民の森駐車場から豊英島までをのんびりと徒歩で自然観察会を行います。県民の森は新緑の真ただ中、多くの動植物との出会いが期待出来ます。ご家族、お知り合い等もお誘い合わせでご参加ください。島は施錠したままですので、必ず県民の森駐車場にお集まりください。
午後からは、食害調査、植生保護ネット・稀少種保護柵の点検などを行い必要に応じた補修・補強を行います。また、植物調査、野鳥調査、クロムヨウラン調査なども分担して行います。

〇年間活動スケジュール

今年度の定例活動日は議案書5頁「月別活動計画」の通りです。次頁にも添付します。保存するか予定表に書き入れてご参加下さい。悪天候による日程変更や臨時活動日はその都度お知らせします。

〇セブン-イレブン記念財団の助成決定

今年度、当会の「生物多様性保全を目指す森づくりと地域への情報発信」活動に対し、活動助成を申請していましたが、申請通り484,520円の助成が決定し、新年度の船出にふさわしいグッドニュースとなりました。総会当日通知を受け、今年度予算は議案書に記載の通り、助成を織り込んだ、収入・支出予算となっています。セブンイレブンの多くのお客様の貴重な募金を有効に活用し、森づくり活動のいっそうの充実を図るとともに、その成果を地域に還元できるように、会員の皆様のご協力をお願いします。

〇会員の異動

今年3月31日付けで、ト部昭久、浩子ご夫妻、長谷川きよ子さん、松本ミドリさん、甲斐順子さんが退会されました。いずれの方も会のため長らくご尽力いただきました。ありがとうございました。OB、OGとなってもメール会報はお送りしますので、自然観察会、キノコ観察会などの機会を見つけて豊英島をお訪ねください。お待ちしております。(事務局)

〇里山センターイベント

来る5月18日(土)に、千葉経済大学で第10回里山シンポジウムが開催されます。午後からの記念公演は、TVのコメンテータなど幅広く活躍されている東京都市大学教授涌井史郎氏による「環境革命の時代が」です。ぜひご参加ください。会場の千葉経済大学は、西千葉駅下車徒歩10分ほどです。詳細は、ちば里山センターのHPをご覧ください。E-mail info@chiba-satoyama.net

〇マダニに注意

国内でも死者が出たと報道されているマダニが媒介する「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」については厚生労働省のHPなど様々な注意喚起が行われていますが、県中部林業事務所から森林整備活動上の注意点をコンパクトにまとめた文書が届きましたので掲載します。

「森林作業にあたっての注意点」

1. マダニに咬まれないようにするため、森林内へ立ち入る際には、長袖の服、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。
2. 森林に立ち入った後、衣類に付着したマダニを払い落してください。マダニは比較的大型のダニで、吸血前で3~4mmです。
3. 吸血中のマダニを見つけた場合、できるだけ病院で処置を受けてください。マダニは皮膚に密着して吸血するため、無理に引き抜くとマダニの一部が皮膚内に残ることがあります。
4. マダニに咬まれ、発熱、下痢及び嘔吐の病状が現れた場合には、速やかに病院で受診してください。

平成25年度月別活動計画

月日	主な活動	摘要
4月21日(日)	年次総会、シイタケ本伏せ、稀少種保護、自由散策 食害調査、植物調査、野鳥調査、クロムヨウラン調査	
5月19日(日)	県民の森自然観察会(内部講師) 稀少種保護 植生保護柵整備 食害調査、植物調査、野鳥調査、クロムヨウラン調査	
6月9日(日)	シカ個体数調査1 環境整備(水辺)、看板整備 食害調査、植物調査、野鳥調査、クロムヨウラン調査	
7月15日(祝)	光環境調査1、環境整備(観察路) 食害調査、植物調査、野鳥調査、クロムヨウラン調査	
8月19日(月)	キノコ観察会(吹春講師)：公開行事 クロムヨウラン調査	
9月16日(祝)	シカ個体数調査2、マダケ林調査 食害調査、植物調査、野鳥調査、クロムヨウラン調査	敬老の日
10月20日(日)	キノコ観察会(内部講師)：内部行事、クロムヨウラン調査	
11月17日(日)	ホダ木伐採 食害調査、植物調査、野鳥調査、クロムヨウラン調査	
12月8日(日)	シカ個体数調査3+公開自然観察会 巨木林成長量調査、 野鳥調査	
1月19日(日)	ホダ場保護柵、植生保護柵管理 野鳥調査	
2月16日(日)	照度調査2、コナラ更新調査 キノコ植菌 植物調査、野鳥調査	
3月16日(日)	シカ個体数調査4、ヒメコマツ樹高・径計測 食害調査、植物調査、野鳥調査	

(備考) 定例活動日の他に必要に応じて、臨時活動日を計画する。

事 務 連 絡
平成 25 年 3 月 1 日

各法人の森協定締結団体 様

千葉県中部林業事務所森林振興課

マダニによる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の感染防止について

日頃、法人の森整備につきましてご尽力くださり誠にありがとうございます。さて、先般愛媛県及び宮崎県においてマダニを媒介した重症熱性血小板減少症候群による死者が発生した旨、厚生労働省から発表がありました。

つきましては、法人の森整備作業にあたっては、下記の点につきましてご留意くださいますようお願いいたします。

記

1. マダニに咬まれないようにするため、森林内へ立ち入る際には、長袖の服、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。
2. 森林に立ち入った後、衣類に付着したマダニを払い落してください。マダニは比較的大型のダニで、吸血前で3～4mmです。
3. 吸血中のマダニを見つけた場合、できるだけ病院で処置を受けてください。マダニは皮膚に密着して吸血するため、無理に引き抜くとマダニの一部が皮膚内に残ることがあります。
4. マダニに咬まれ、発熱、下痢及び嘔吐の病状が現れた場合には、速やかに病院を受診してください。

(参考 厚生労働省ホームページ)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002v5pa.html>